

# 地域をつなぎ、地域とつながる。

NEXCO東日本グループは、

東日本地域における高速道路の

管理事業、建設事業、サービスエリア事業および

高速道路関連ビジネスを行っています。

今後も、地域・国・世代を超えた持続可能な社会の実現に向けて、

「つなぐ」価値を創造し、

あらゆるステークホルダーの皆さまに貢献する企業として

成長してまいります。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で尽力されている医療従事者をはじめ  
多くのエッセンシャルワーカーの方々に深く感謝するとともに  
一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

## CONTENTS

企業理念	3
NEXCO東日本グループのCSR	4
NEXCO東日本グループの事業	5
Cross × Talk	7
中期経営計画(2021年度～2025年度)	11
NEXCO東日本グループ 主要重点計画とSDGsへの貢献	15
特集 東日本大震災発生から10年の復興支援の歩み	17
道路管理運営事業 ～持続可能なベストウェイを目指して～	23
サービスエリア事業 ～より便利で快適なサービスの提供に向けて～	37
道路建設事業 ～高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実～	45
技術開発・海外事業 ～「進化した技術」で未来を拓く～	53
社会と社員のために ～社会的責任を果たす役割～	63
ステークホルダーの皆さまからのメッセージ	79
会社概要/役員一覧/組織図/営業道路一覧/建設道路一覧/ インターチェンジ・SA・PA/財務諸表/グループ会社一覧	83
第三者意見	89



あなたに、ベスト・ウェイ。



〔本レポート編集方針〕 「NEXCO東日本レポート」は、NEXCO東日本グループの高速道路事業や、高速道路事業を通じた社会の持続的な発展に向けての取組みをステークホルダーの皆さまにお伝えするために発行しています。「NEXCO東日本レポート」は、本編とCSR BOOKをご用意しており、どちらも当社コーポレートサイトからダウンロードいただけます。

〔報告対象組織〕 NEXCO東日本およびグループ会社28社

〔報告対象期間〕 2020年4月1日～2021年3月31日(一部期間外の活動なども掲載しています)

### ● 当社の沿革

1956	日本道路公団が発足
1960	京葉道路 一之江出入口～船橋IC開通 翌年日本初の自動車専用道路となる
1971	北海道初の高速道路(道央道 北広島IC～千歳IC、札幌道 小樽IC～札幌西IC)開通
1985	関越道 全線開通
1987	東北道 全線開通
1988	北陸道 全線開通
1997	東京湾アクアライン 開通
1999	上信越道 全線開通
2001	ETCサービスを開始

2005	日本道路公団が民営化し、東日本高速道路株式会社が発足
2006	ブランドネームを「NEXCO東日本」とする
2008	商業施設のフラッグシップブランド「Pasar(パサル)幕張」がオープン
2011	東日本大震災が発生し、当社管内の高速道路も大きく被災
2015	常磐道 全線開通/高速道路リニューアルプロジェクト着手
2017	圏央道 境古河IC～つくば中央IC 開通 圏央道で東名高速～東関東道がつながる
2018	外環道 三郷南IC～高谷JCT 開通 外環道で関越道～東関東道がつながる
2019	インド現地法人設立/東日本最大級のサービスエリア「Pasar(パサル)蓮田」がオープン
2020	「NEXCO東日本 総合技術センター」運用開始